

川の素顔・命の水

かわのすがた

すいせいぶつで知る
川の健康

いのちのみず

2018年度
調査

水生生物調査結果概要



水生生物を調べて 川の水質を知ろう！

- ◆ 川にすむ生きもの（水生生物）を調べることで「水のきれいさ」を知ることができます。
- ◆ この調査は、みなさんの参加によって毎年行われています。



水のきれいさの区分

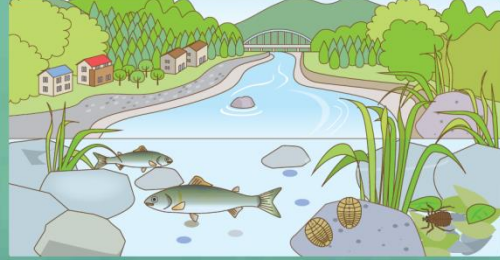
- ◆ 川の「水のきれいさ」は、右にしめす4つの階級に分けられています。
- ◆ どんな生きものがあるかにより、水のきれいさがわかります。

すいしつかいきゅう Ⅰ
水質階級
きれいな水



みずはとうめいで、かわぞこまで見え、みなさんが川の中に入って遊びたくところ。川底には石がたくさんあります。また、川岸には植物があり、日陰もあります。

すいしつかいきゅう Ⅱ
水質階級
ややきれいな水



まわりには田んぼがあって、水がややにごっていると。川の中の石を持ち上げると石の表面にたくさんの水生生物がついています。

すいしつかいきゅう Ⅲ
水質階級
きたない水





排水路が川につながっていたり、まわりに多くの人がみられるようなところ。川底は泥っぽくなっています。

すいしつかいきゅう Ⅳ
水質階級
とてもきたない水



まわりには工場なども多く、人がたくさん住んでいます。川の水はにごっていて、ゴミなどがたまりやすくなっています。

たとえば、サワガニ 
が多くいるところは「きれいな水」、アメリカザリガニ 
が多くいるところは、「とてもきたない水」だよ。




































水生生物調査とは？

- ◆ この調査は、みなさんの参加と協力によって約30年間続いています。
- ◆ 特別な道具を使わなくても、小学生以上であれば簡単に参加できます。
- ◆ 調査に参加することで、『川の生き物』や『水のきれいさ』を知るとともに、川に親しみ、川を大切に作るきっかけにもなります。
- ◆ 水のきれいさを判定するための目安となる水生生物を『指標生物』といいます。
- ◆ 調査は、水生生物を採取して『指標生物』を見つけることで行います。

29種類の指標生物

指標生物の見分け方は、パンフレットなどを見てね！



 きれいな水	 カワゲラ類	 ナガレトビケラ類	 ヤマトビケラ類	 ヒラタカゲロウ類	 ヘビトンボ	 ブユ類	 アミカ類	 ナミウズムシ	 サワガニ	 ヨコエビ類
 ややきれいな水	 コガタシマトビケラ類	 オオシマトビケラ	 ヒラタドロムシ類	 ゲンジボタル	 コオニヤンマ	 カワニナ類	 ヤマトシジミ	 イシマキガイ		
 きたない水	 ミズムシ	 ミズカマキリ	 シマイシビル	 タニシ類	 イソコツブムシ類	 ニホンドロソコエビ				
 とてもきたない水	 ユスリカ類	 チョウバエ類	 エラミミズ	 サカマキガイ	 アメリカザリガニ					

水生生物調査の道具と服装

水生生物調査でつかう道具や行く時の服装は、次のようなものです。
※道具は先生やいっしょに行く大人の人と相談して用意してください。

準備するもの

持ち物をチェックしよう!

先生やいっしょに行く大人の人と相談して、まとめて用意しましょう。

タモあみ・ザル



透明な入れ物



調査シート・筆記用具



온도計



白いシート



巻尺



箱メガネ



ピンセットとスポイト



バケツやトレイなどの入れ物



ゴム手袋



虫めがね



その他の物

ゴミ袋



救急用品



虫よけスプレー



のみもの

調査でつかう道具

服装

ツバの広い
ぼうし



長そでの
動きやすい服



ライフ
ジャケット

長ぐつや、
水にぬれても
よいくつ



注意しよう！

川には、あぶないところもあるので注意して入ろう。

❗ 川には大人の人といっしょに行こう！



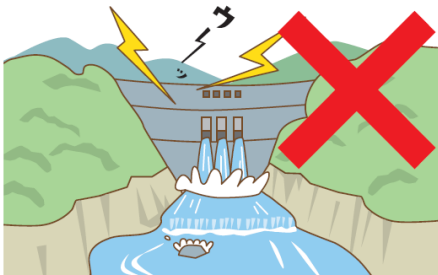
❗ ひざよりも深いところや、流れが速いところには行かないでね！



❗ 川の中や、ぬれたコンクリートの上を歩くときは、すべって転ばないように気をつけよう！



❗ ダムの放流や急な大雨があると、川の水が急に増えることがあるので、サイレンがなったら、すぐに川から離れよう！



❗ 川の水が増えている時や流れの速いときは、川に入らない！



❗ ゴミは持ち帰ろう！



川の状況は
急に変化
します！

晴れていても、川の状況が急変することがあります。

- 急に黒い雲が近づいてきた
- 雷の音が聞こえる
- 稲妻が見えた
- 天気予報で、「雷注意報」「大雨や洪水の警報・注意報」が出ている、など

現地の情報収集には、「川の防災情報 携帯電話版」にアクセスし、
周辺の雨量・水位を確認してください。(http://i.river.go.jp)



水生生物調査のやりかた

- ① 石が多く、流れのある瀬の場所で採取する



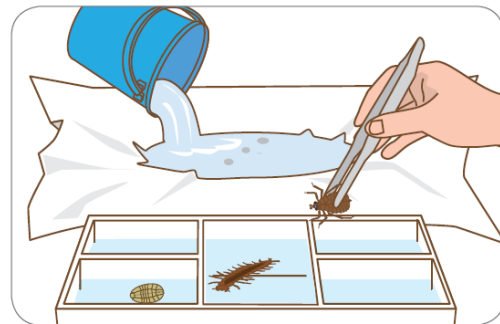
水生生物が流れてしまわないように、下流側に網をおいてから、川底の石を持ち上げ、流れ出る水生生物を網で受けます。

- ② 採った生きものをためておく



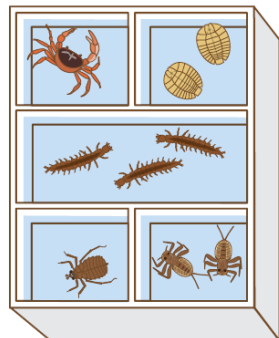
網や石の表面についている水生生物を水の入ったバケツの中に落とします。小さなものも逃さず集めましょう。

- ③ 白いシートに広げる



バケツの余分な水やゴミを捨ててから水生生物を白いバットやシートの上に広げ、ピンセットなどでつかまえます。

- ④ 形が似た生きものに分ける



仕切りのあるトレイを使って、形が似た生きもの同士に分けます。

- ⑤ 名前を調べる



この冊子の指標生物の写真や、図鑑と見比べて、水生生物の名前を調べます。

- ⑥ 調査シートに記録する



調べた結果を調査シート(4ページ)に記録して、水のきれいさを判定してみましょう。

近畿全体の調査結果

2018年は、近畿54地点で“水のきれいさ”を調べました。

◆ 平成30年度は近畿地方（兵庫県、京都府、滋賀県、福井県、大阪府、奈良県、三重県、和歌山県の8府県）の合計54地点で調査を行いました。

◆ 調査結果は以下の通りでした。

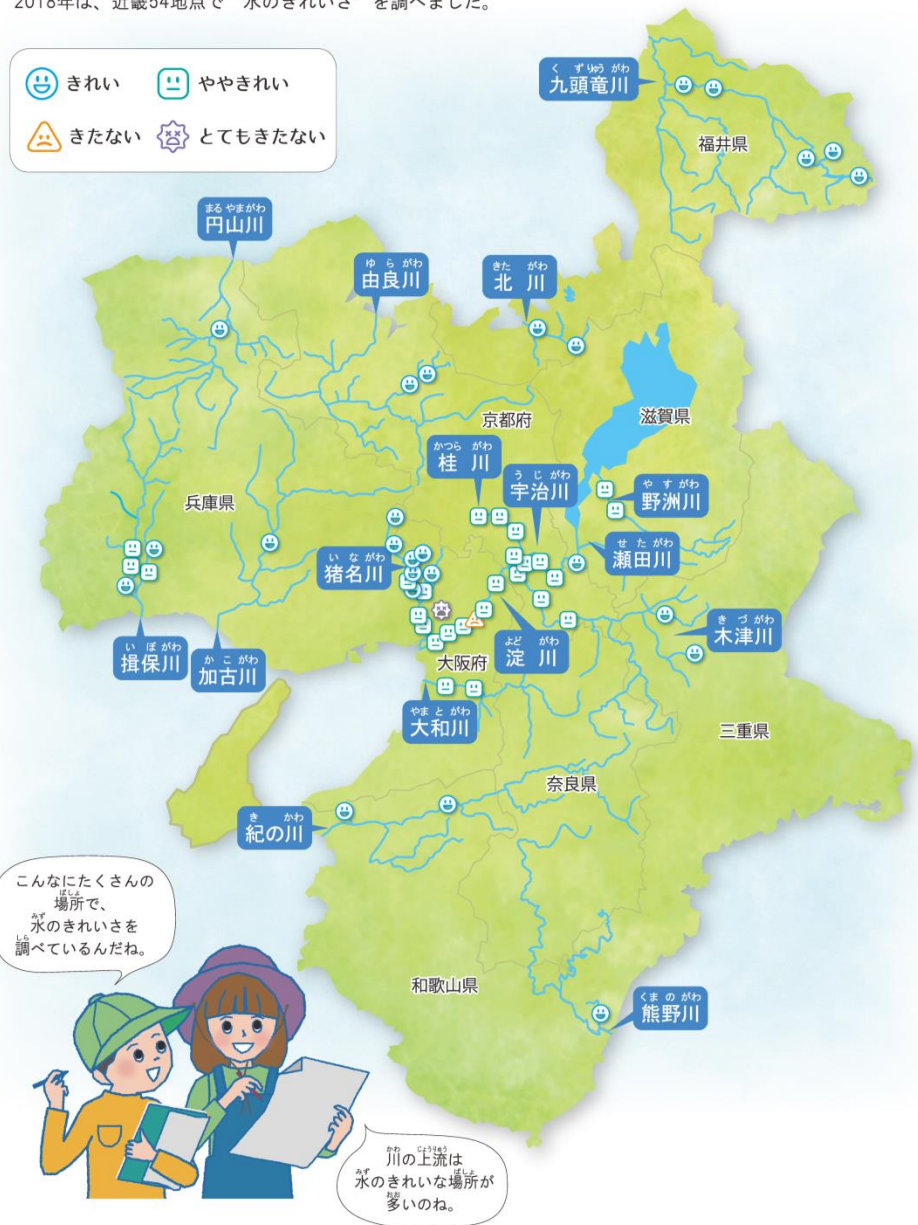
😊きれいな水…………… 26地点

🙂ややきれいな水……… 26地点

😞きたない水…………… 1地点

🌟とてもきたない水……… 1地点

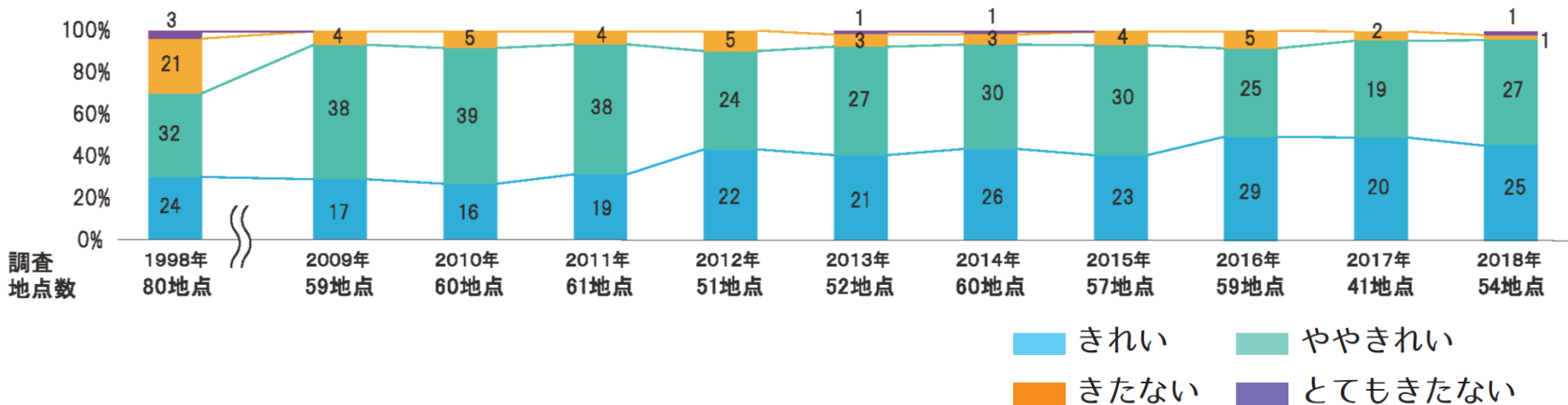
◆ 川の上流では「きれい」が多く、中～下流では「ややきれい」が多くなっています。



近畿全体の調査結果

「水のきれいさ」の移り変わり

- ◆平成10年と過去10年間の近畿の川の水のきれいさの変化をみると、「きたない水」の地点の割合が減ってきて、「きれいな水」の地点の割合が増えてきています。
- ◆このように、過去からのデータをみることで、昔に比べてきれいになってきているのか、きたなくなっているのかを知ることができます。
- ◆みなさんが調査して得られた結果は、将来にわたって活用されます。

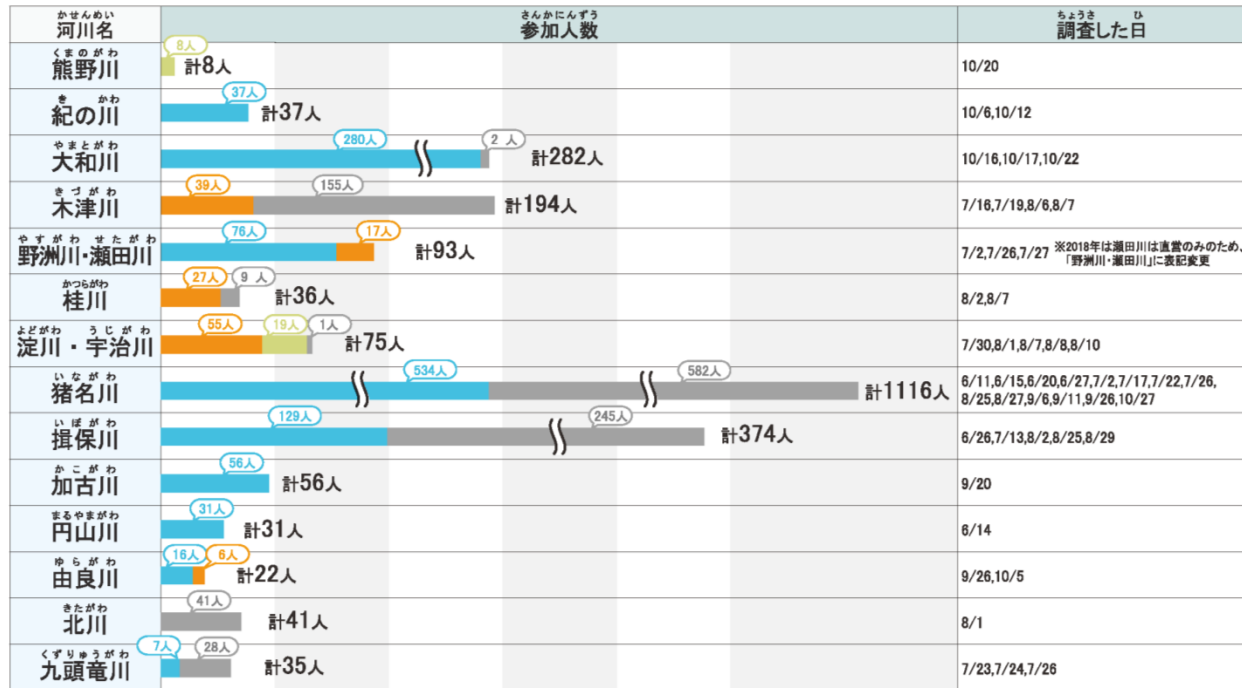


近畿全体の調査結果

参加人数

- ◆平成30年度調査では、**2,252人**の参加がありました。
- ◆小・中学校をはじめ、流域住民の参加と協力のもと、**昭和59年度から継続的に調査**を実施しています。
- ◆河川環境や水質に関する理解を深める場として定着し親しまれ、いくつかの小・中学校では、**総合学習の場**として活用されています。

2018年 河川ごとの参加人数

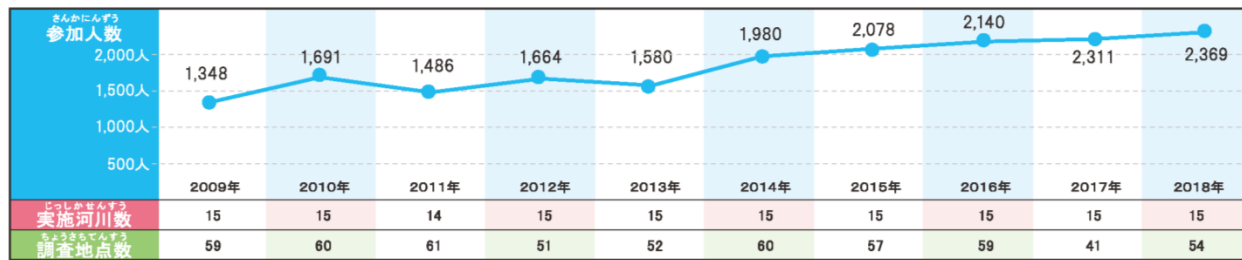


■ 小学校
 ■ 中学校
 ■ その他学校
 ■ その他

※参加人数は河川ごとに集計しているため、下図の人数（実際に参加された方の人数）とは異なります。

これまでの調査地点数と参加人数

近年、参加人数は、年々増えています。



※淀川、宇治川は1河川として数えています。2011年：熊野川は天候不良のため中止。

近畿全体の調査結果

平成30年度の水生生物調査に参加した方々の感想の一部を紹介します。

次の調査に、是非参加してください。
きっと、新しい発見があると思います。



参加した方々の感想

小学生のみなさんの感想

くすりゅうがわ (九頭竜川)

わたしたちのまちにこんなにきれいな川があると知ってうれしかった。水生生物が快適に住めるような美しい川を残していきたいと思った。

ゆらがわ (由良川)

知らない生き物もたくさんいて勉強になった。

まるやまがわ (円山川)

ちかす近くに住んでいるのに、川に近づいたことが無かったので、いい経験が出来た。



中学生のみなさんの感想

よどがわ (淀川)

さいしょよどがわせいぶつたようせいぎもんがあつたが、いざ調査してみると思ったよりも多く生物がいたので驚いた。

きづがわ (木津川)

さいごにまとめられた調査の結果を見て、同じよどがわすいけい淀川水系でもここまで生息している指標生物や魚の種類が前回調査した桂川と大きく異なっていたのには驚き、より一層川に対する興味湧いてきた。



熊野川

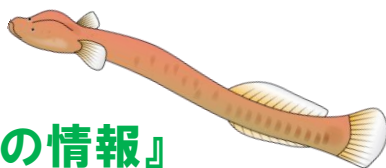
平成30年度の調査結果

地点数：1地点

参加者数：8人

参加団体：

□ 近畿大学附属新宮高等学校・中学校



『この川にすむ生物の情報』

・イドミミズハゼ

汽水域の小石の間や伏流水があるところにもぐってすんでいます。汚い水や土が多く混ざった水が流れてくると生きていけなくなります。イドミミズハゼがいるということは、熊野川から流れてくる水がきれいな証拠になります。



1地点で調査が実施され、水質判定による結果は、『きれいな水』でした。

熊野川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 新宮川5.0k	※1984～1996年に調査												
2 相野谷橋(※1)	I	I	I	I	I		I	I	I	I	I	I	I
3 熊野大橋	※1993～1995年に調査												
4 丸山橋	※1985～1990年に調査												

(※1)「相野谷橋」地点は、2010年の調査より「相野谷橋下流」地点に整理している。



調査地点

これまでに **4 地点** で調査が実施されました。

相野谷橋では、継続的に調査が実施されています。

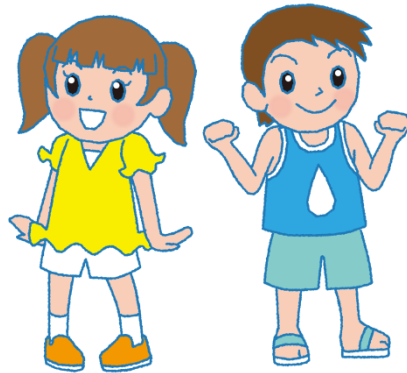
水のきれいさの経年変化

相野谷橋下流の水のきれいさは、過去11年にわたり「**きれいな水**」の評価が続いています。

熊野川



調査実施状況



紀の川

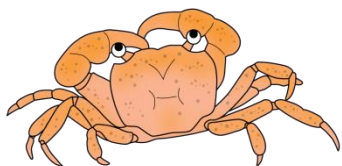
平成30年度の調査結果

地点数：2地点

参加者数：37人

参加団体：

- 有功東小学校
- 高野口小学校



『この川にすむ生物の情報』

・台湾ヒライソモドキ

台湾ヒライソモドキは、汽水域の石の下で生活する1cm程度の小さなカニです。大阪から台湾に生息していますが、まとまった数がすんでいるのは、紀の川が北限といわれています。



2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、全ての地点で『きれいな水』でした。

紀の川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 大川橋				II									
2 恋野橋	※1984、1985年に調査												
3 橋本橋	※1998年に調査												
4 岸上橋	※1984、1985年に調査												
5 紀伊丹生川合流点	※1994年に調査												
6 三谷橋	※1984～1991年に調査												
7 麻生津大橋	※1984、1985年に調査												
8 龍門橋	※1984、1985、1989～1992年に調査												
9 竹房橋	※1997年に調査												
10 岩出橋	※1984、1985、1988～1992、1991、1992、1995年に調査												
11 諸井橋	※1988、1989、1994年に調査												
12 貴志橋	※1990、1991年に調査												
13 川辺	※1984、1985年に調査												
14 九度山橋	I	II		II	II	I	I	I	I				
15 井阪橋	※1999、2000年に調査												
16 九度山町河根	※2001年に調査												
17 阪合部橋	※2002年に調査												
18 大関橋	※2003年に調査												
19 観音橋										II			
20 口畑橋	I	I											
21 出世不動明王(※1)				II	I	I	I	I	I	I	I	I	I
22 丹生橋(※2)											I	I	I

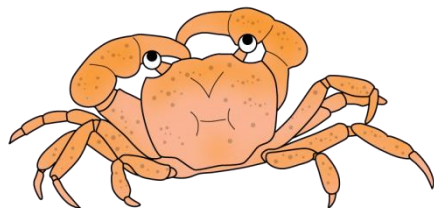
(※1)「出世不動明王」地点は、2015年の調査のみ「出世不動」地点として整理している。
 (※2)「丹生橋」地点は、2017年の調査から「丹生橋下流」地点として整理している。

 きれいな水Ⅰ

 ややきれいな水Ⅱ

 きたない水Ⅲ

 とてもきたない水Ⅳ



調査地点

これまでに**22地点**で調査が実施されました。

出世不動明王では、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

出世不動明王の水のきれいさは、「きれいな水」～「ややきれいな水」となっています。特に最近の8年間は「きれいな水」の評価が続いています。

紀の川



参加したみなさんの感想

- 児童2名（小学校3・4年生）の参加ではあったものの、平松さん（県環境アドバイザー）をはじめ、水生生物や水質調査の見方・行い方を丁寧に教えて下さったため、児童らは楽しく活動をする事ができたと思います。・・・（小学校教諭）

大和川

平成30年度の調査結果

地点数：2地点

参加者数：284人（延べ数）

参加団体：

- 富田林市立川西小学校
- 八尾市立大正小学校
- 堺市立浅香山小学校
- 大和川釣り人クラブ



『この川にすむ生物の情報』

アユは、5～6月ごろ海から大和川へ戻ってきます。小さいときは水生昆虫を食べながら川を上っていき、気に入った早瀬があるとそこで石につく藻も食べて更に大きくなります。大人になったアユは、10月ごろになると大和川の下流まで下って、早瀬で産卵します。



2地点で調査が実施されましたが、指標生物はみつかりませんでした。みつかった生物から、2地点とも「ややきれいな水」と判断しました。

調査結果
熊野川
紀の川
大和川
木津川
瀬田川
野洲川
桂川
淀川・宇治川
猪名川
揖保川
加古川
田山川
由良川
北川
九頭竜川

大和川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 上吐田	※1984～2005年に調査												
2 太子橋	※1984～2005年に調査												
3 御幸大橋	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	無	Ⅲ	
4 藤井	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	無	無	無	Ⅲ	Ⅲ	
5 国豊橋													
6 河内橋	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	無	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ
7 浅香新取水口(※1)		Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	無	無	Ⅳ	無	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ
8 遠里小野橋	※1984～2005年に調査												

(※1)「浅香新取水口」地点は、2010年の調査より「浅香」地点に整理している。



調査地点

これまでに **8 地点** で調査が実施されました。

河内橋、浅香の地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、2008年までは「きたない水」の地点が多かったが、2009年以降では、河内橋、浅香の地点で「ややきれいな水」の地点が多くなっています。

大和川



参加したみなさんの感想

- 水がおもったよりきれいで驚いた。・・・（小学生）
- カニを捕まえてうれしかった。・・・（小学生）
- ・実際に大和川に入って生き物を採取できた経験は、これからの地域学習に子どもが興味をもってくれるいいきっかけになったと感じた。・・・（一般参加）
- ・子供のころきたなかった大和川がきれいになっていることを体感できてうれしかった。・・・（一般参加）

木津川

平成30年度の調査結果

地点数：5地点

参加者数：198人（延べ数）

参加団体：

- 上野生涯学習推進会議
- 大阪市立新豊崎中学校
- 大阪市立大桐中学校
- 大阪市立新北野中学校
- 大阪市立中野中学校
- 大阪市立咲くやこの花中学校
- 高槻市立第六中学校
- 一般参加



『この川にすむ生物の情報』

・オオサンショウウオ

木津川には、国の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオがすんでいます。大きくなると、小学校低学年の子どもと同じくらいの120cmにもなります。

川の生態系の頂点にいる生きもので、小魚、サワガニ、カエルなどを食べます。オオサンショウウオがいる木津川は、豊かな自然環境が残されていることがわかりますね。

ミニ情報
木津川には、国の特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオがすんでいます。大きくなると、小学校低学年の子どもと同じくらいの120cmにもなります。川の生態系の頂点にいる生きもので、小魚、サワガニ、カエルなどを食べます。オオサンショウウオがいる木津川は、豊かな自然環境が残されていることがわかりますね。
オオサンショウウオ

topic トピック
魚のように、魚が上れなかった頃に階段（魚道）をつけて、魚が上りやすくなる取り組みを地元の方々と協力して行っています。

木津川の「水のきれいさ」の移り変わり

調査地点	2009年	2011年	2015年	2018年
木津川御幸橋	☹️	☹️	☹️	☹️
玉水橋	☹️	☹️	☹️	☹️
森仁大橋	☹️	☹️	☹️	☹️
新服部橋	☹️	☹️	☹️	☹️
稲広橋	☹️	☹️	☹️	☹️

☹️きれいな水 ☹️ややきれいな水 ☹️きれいな水 ☹️とてもきれいな水 ☹️調査していません

1 木津川御幸橋

ややきれいな水

平成30年8月7日

きれいな水 4点

ややきれいな水 4点

2点 2点

国土交通省

2 玉水橋

ややきれいな水

平成30年8月7日

きれいな水 2点

ややきれいな水 1点

きれいな水 4点

2点 2点

国土交通省

3 森仁大橋

ややきれいな水

平成30年8月6日

参加人数 40人

きれいな水 2点

ややきれいな水 6点

2点 2点 1点 1点

とてもきれいな水 1点

1点

高槻市立第六中学校
大阪市立大桐中学校
大阪市立咲くやこの花中学校
大阪市立新豊崎中学校
大阪市立新北野中学校
大阪市立中野中学校
一般参加

4 新服部橋

きれいな水

平成30年7月19日

参加人数 4人

きれいな水 4点

2点 1点 1点

上野生涯学習推進会議

5 稲広橋

きれいな水

平成30年7月16日

参加人数 154人

きれいな水 9点

ややきれいな水 2点

1点 2点 1点 1点

1点 1点 2点

1点 1点

上野生涯学習推進会議

5地点で調査が実施され、水質判定による結果は、
2地点で『きれいな水』、3地点で『ややきれいな水』でした。

調査結果
熊野川
紀の川
大和川
木津川
瀬田川
野洲川
桂川
淀川・宇治川
猪名川
揖保川
加古川
岡山川
由良川
北川
九頭竜川

木津川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定				
		I									II									III									IV	I	II	III	IV								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28					29				点数計	点数計	点数計	点数計
稲広橋	7/16	○	●	○	○	○		○		●					○	○																			9	2	0	0	I	I	I
新服部橋	7/19		●	○	○																														4	0	0	0	I	I	I
恭仁大橋	8/6	○			○							●	●		○	○													○						2	6	0	1	II	II	I
玉水橋	8/7	○			○							●	●																						2	4	0	0	II	II	
木津川御幸橋	8/7										●	●																							0	4	0	0	II	II	

きれいな水Ⅰ

 ややきれいな水Ⅱ

 きたない水Ⅲ

 とてもきたない水Ⅳ

確認種

木津川では、「きれいな水」の指標生物であるナガレトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、サワガニなどが、「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、オオシマトビケラが多く確認されました。

確認種数

木津川全体で、「きれいな水」の指標生物7種類、「ややきれいな水」の指標生物4種類、「とてもきたない水」の指標生物1種類の合計12種類が確認されました。

- 調査結果
- 熊野川
- 紀の川
- 大和川
- 木津川
- 瀬田川
- 野洲川
- 桂川
- 淀川・宇治川
- 猪名川
- 揖保川
- 加古川
- 円山川
- 由良川
- 北川
- 九頭竜川

木津川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 中垣内橋	※1987～1988年に調査												
2 稲広橋	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
3 阿保橋	※1987～1997年に調査												
4 古郡 潜水橋	※1988年に調査												
5 比土橋	※1987、1989～1997年に調査												
6 大野木橋	※1984～1997年に調査												
7 芝床橋	※1984～1997年に調査												
8 新長田橋	※1984～1995年に調査												
9 新居橋	※1984～1995年に調査												
10 岩倉橋	※1984～1997年に調査												
11 長瀬	※1989～1995年に調査												
12 新夏見橋(※1)	※1986～1995年に調査					II	II						
13 高橋	※1986～1995年に調査												
14 黒田大橋	※1994、1999、2000、2003年に調査												
15 名張大橋	※1998年に調査												
16 大屋戸潜水橋	※1988年に調査												
17 薦生橋	※1988年に調査												
18 家野	※1986、1987、1989～1995年に調査												
19 笠置橋	※1985～1987、2001年に調査												
20 恭仁大橋	II	II	II	I	II	II	II	II	II	II	II	I	II
21 泉大橋	※1986、1987年に調査												
22 泉大橋下流2km	※1985年に調査												
23 玉水橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II		II
24 岩田	※1985～1987年に調査												
25 木津川御幸橋	II	II	II	II	II	II	III	I	II	II	II		II
26 新服部橋	I	I	I	I		I	I	I	I	I	I	I	I
27 木の平橋	※1998年に調査												
28 新町橋		I				II			I				
29 不動川砂防歴史公園	※2003年に調査												
30 大山田	II	II											
31 壬生野		II											
32 三田		II											
33 糸川橋		II											
34 黒田橋				II									
35 依那古橋					II			II					

(※1)「新夏見橋」地点は、2011年の調査より「夏見」地点として整理している。



調査地点

これまでに**35地点**で調査が実施されました。

稲広橋、恭仁大橋、新服部橋の地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、**上流域**の稲広橋、新服部橋は「**きれいな水**」が続いています。**中流域**の恭仁大橋は「**ややきれいな水**」が続いています。

きれいな水Ⅰ

ややきれいな水Ⅱ

きたない水Ⅲ

とてもきたない水Ⅳ

木津川



参加したみなさんの感想

- いつもは見ているだけの川を、水生生物調査によって詳しく知ることができてよかったと思う。機会があれば、また別の川でも調査に参加してみたいと思う。・・・（中学生）
- 川の底にある石のうらにけっこうな数の虫がいて、びっくりした。速く逃げるものや隠れるもの、巣から出てこないものなど、人に見つかったときの対しよ法にはいろんなものがあり今一度「生物ってこんなにもかっこよかったっけ？」っと、生物に興味がまたわいてきました。またこのような調査会があれば参加したいと思う。・・・（中学生）

瀬田川・野洲川

平成30年度の調査結果

地点数：3地点

参加者数：野洲川 93人

参加団体：

- 守山市立守山南中学校
- 野洲市立北野小学校



『この川にすむ生物の情報』

・セタジミ

セタジミは、もともと琵琶湖やその下流の河川にしかすんでいないジミです。50年くらい前まではたくさん取れて、家庭の味として親しまれていました。

しかし、最近では数が減っています。セタジミがすめる川にするにはどうしたらいいだろう？



3地点で調査が実施され、水質判定による結果は、『きれいな水』が1地点、『ややきれいな水』が2地点でした。

調査結果
 熊野川
 紀の川
 大和川
 木津川
 野洲川
 瀬田川
 桂川
 淀川・宇治川
 猪名川
 揖保川
 加古川
 円山川
 由良川
 北川
 九頭竜川

瀬田川・野洲川

調査結果の経年変化

瀬田川

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 石山寺対岸	※1984～1991年に調査												
2 石山小学校前	※1984、1985年に調査												
3 瀬田川洗堰下	※1984～1992年に調査												
4 信楽川・瀬田川合流点(※1)	I	II	I	I	I	II	I	I	II	I	I	I	I
5 瀬田川・大石川合流点						I	II	I	II				
6 高橋下流											I	I	

(※1)「信楽川・瀬田川合流点」地点は、2010年の調査より「瀬田川・信楽川合流点」地点として整理している。

野洲川

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 野洲川大橋	II	II	I						II				
2 落差工(※1)					II	II	II	II	II				II
3 名神野洲川橋				II						II	I	I	II

(※1)「落差工」地点は、2010年の調査より「落差工上流付近」地点として整理している。



調査地点

瀬田川では、これまでに**6地点**で調査が実施されました。

信楽川・瀬田川合流点で、継続的に調査が実施されています。

野洲川では、これまでに**3地点**で調査が実施されました。

水のきれいさの経年変化

瀬田川の水のきれいさは、主には「きれいな水」が続いています。

野洲川の水のきれいさは、2015年までは「ややきれいな水」が続いていましたが、2016～2017年は「きれいな水」でしたが、**2018年**は「ややきれいな水」になりました。

瀬田川・野洲川



参加したみなさんの感想

- 野洲川には、こんなにたくさんの水生生物がいると思わなかったので、とてもびっくりした。・・・（小学生）
- 今年はコオニヤンマが見つけれなかったのが残念でした。また去年よりも捕れにくかった気がしました。でも野洲川にはもっときれいになって欲しいので環境のことを気にしていきたいです。・・・（中学生）

桂川

平成30年度の調査結果

地点数：4地点

参加者数：36人

参加団体：

- 大阪市立新豊崎中学校
- 大阪市立大桐中学校
- 大阪市立新北野中学校
- 大阪市立旭陽中学校
- 大阪府立枚方高等学校
- 大阪府立茨木工科高等学校
- 京都市立京都工学院高等学校



『この川にすむ生物の情報』

・ヨドゼゼラ

ヨドゼゼラは、2010年に新種として桂川の下流で発見されました。

流れのゆるやかなワンドや水路の砂や泥がたまった場所にすんでいます。

桂川にはこうした環境が昔からあったことがわかりますね。



4地点で調査が実施され、水質判定による結果は、すべての地点で『ややきれいな水』でした。

調査結果
熊野川
紀の川
大和川
木津川
瀬田川
野洲川
桂川
淀川
宇治川
猪名川
揖保川
加古川
岡山川
由良川
北川
九頭竜川

桂川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定	
		I										II								III						IV					I	II	III	IV				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								
		カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計	点数の最も高い階級			
渡月橋	8/2	○			○	○						●	●	○		○	○															3	7	0	0	II	II	II
西大橋	8/7	○	○		○							●	●			○															3	5	0	0	II	II		
羽束師橋	8/7											●	○			○			●											0	4	2	0	II	II			
宮前橋	8/7											●	●															○		0	4	0	1	II	II			

 **きれいな水I**
 **ややきれいな水II**
 **きたない水III**
 **とてもきたない水IV**



確認種

「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、オオシマトビケラが多く確認されました。

確認種数

桂川全体で、「きれいな水」の指標生物4種類、「ややきれいな水」の指標生物5種類、「きたない水」の指標生物1種類、「とてもきたない水」の指標生物1種の合計11種類が確認されました。

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 渡月橋	II	II	II	II	II	II	I	II	II	II	II	II	II
2 上野橋	※1985～1987年に調査												
3 西大橋	II	II	II	II	II	II	I	I	I	II	II		II
4 羽束師橋	II	II	II	II	II	II	II	I	II	II	II		II
5 宮前橋	II	II	II	II	II	II	II	III	II	II	II		II
6 大山崎	※2005年に調査												

 きれいな水Ⅰ

 ややきれいな水Ⅱ

 きたない水Ⅲ

 とてもきたない水Ⅳ



調査地点

これまでに **6 地点** で調査が実施されました。
 渡月橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、過去「**ややきれいな水**」が続いていますが、**2012年以降**は「**きれいな水**」の地点がみられました。

桂川



参加したみなさんの感想

- 見たことがなかった生き物をたくさん観察することができたので良かった。・・・（中学生）
- ・水質階級があり、きれいな水、ややきれいな水、きたない水、とてもきたない水に分かれていることを初めて知りました。・・・（中学生）
- 机上の学習ではなく、このように直接、生物の調査をすることはとても大切なことなのに、ペーパーテストだけで生徒の力をはかろうとすることに本当に疑問を感じます。このような貴重な体験をこれからも多くの生徒ができますように、よろしく願いたします。・・・（教員）

淀川・宇治川

平成30年度の調査結果

地点数：9地点

参加者数：75人

参加団体：

- 大阪市立新豊崎中学校
- 大阪市立大桐中学校
- 大阪市立新北野中学校
- 大阪市立旭陽中学校
- 大阪市立中野中学校
- 東大阪市立花園中学校
- 大阪市立加美中学校
- 大阪市立西中学校
- 大阪府立枚方高等学校
- 大阪市立東高等学校
- 大阪府立西野田工科高等学校
- 一般参加



『この川にすむ生物の情報』

・イタセンパラ

イタセンパラがすんでいるのは、日本全国で3箇所のみで、その1つが淀川です。そのため、国の天然記念物に指定されています。イタセンパラは、イシガイなどの二枚貝に産卵します。しかし、近年は外来生物のヌートリアが増え、この二枚貝を食べています。そのため、ヌートリアを捕獲し、イタセンパラの産卵に必要な二枚貝を守る取り組みが行われています。

2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、全ての地点で『ややきれいな水』でした。



調査結果
熊野川
紀の川
大和川
木津川
野洲川
瀬田川
桂川
淀川・宇治川
猪名川
揖保川
加古川
円山川
由良川
北川
九頭竜川

淀川・宇治川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つけた指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年 の判定	昨年 の判定	
		I										II								III						IV					I	II	III	IV				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								点数計
京滋バイパス下流	8/8		○								○	●			○	●															○	1	6	0	1	II	II	II
隠元橋	8/7										○	●				●																0	5	0	0	II	II	
宇治川御幸橋	8/7										●					●																0	4	0	0	II	II	
楠葉砂州	8/1										●																					0	2	0	0	II	II	
鳥飼大橋	7/30														○	●								●								0	3	2	0	II	II	
城北	7/30																															0	0	2	0	III	III	
柴島水管橋	7/30														○	●													○		0	3	2	1	II	II		
十三干潟	8/10																●	●							○						0	4	1	0	II	II	II	
伝法大橋	7/30																●	●													0	4	0	0	II	II		

☺ きれいな水 I

😊 ややきれいな水 II

⚠️ きたない水 III

☹️ とてもきたない水 IV

確認種

「ややきれいな水」の指標生物である、コガタシマトビケラ類、オオシマトビケラ、カワニナが多く確認されました。

確認種数

淀川・宇治川全体では、「きれいな水」の指標生物 1 種類、「ややきれいな水」の指標生物 6 類、「きたない水」の指標生物 2 種類、「とてもきたない水」の指標生物 1 種の合計 10 種類が確認されました。

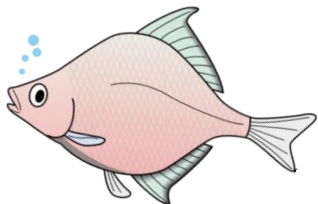
淀川・宇治川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 宇治橋(※5)	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
2 隠元橋						II	II	II	II	II	II		II
3 観月橋	※1986、1987年に調査												
4 宇治川御幸橋	II	III	III	III	II	II	III	II	II	II	II		II
5 枚方大橋	※2000年に調査												
6 鳥飼大橋	III	III	II	III	III	III	II	II	II	II	II		II
7 豊里大橋	※1986、1987年に調査												
8 城北ワンド(※1)	III	III	IV	III	III	III	III	III	III	III	III		III
9 柴島水管橋	III	III	II	III	III	III	III	II	II	III	III		II
10 淀川大堰(※2)	II	II	III	II	II	II	II	II	II	II	II	II	
11 西中島	※1985年に調査												
12 伝法大橋	II	II	III	II	II	II	II	II	II	II	II		II
13 枚方大橋(磯島)	※1998、2000、2002年に調査												
14 船橋川河口	※2000年に調査												
15 穂谷川合流点(※3)	II	II	III	II	II	II	II	II					
16 十三干潟(※4)		II	II	II	II								II
17 向島	※2005年に調査												
18 東高瀬川合流部	II	II	II	II	II								
19 楠葉砂州									II	II	II		II

- (※1)「城北ワンド」地点は、2010年の調査より「城北」地点として整理している。
- (※2)「淀川大堰」地点は、2010年の調査より「淀川大堰下流」地点、2016年の調査より「柴島再生干潟」地点として整理している。
- (※3)「穂谷川合流点」地点は、2010年の調査より「枚方(穂谷川合流点)」地点として整理している。
- (※4)「十三干潟」地点は、2010年の調査より「西中島干潟」地点として整理している。

😊 きれいな水Ⅰ
😊 ややきれいな水Ⅱ
😞 きたない水Ⅲ
😡 とでもきたない水Ⅳ



調査地点

これまでに**19地点**で調査が実施されました。

宇治橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、**上流**の宇治橋地点、**下流**の伝法大橋地点ともに「**ややきれいな水**」が続いています。



淀川・宇治川



参加したみなさんの感想

- 桂川に入ったときは水が冷たくても岸のすこしてまえの方に行くと温かいところもあった。石のうらにいる水生生物がいてびっくりしました。魚がいても水質が良い悪いはわからないけど、虫がいればその水質がわかることがわかった。・・・（中学生）
- 今回の淀川の水生生物調査は初めてで、すごく楽しかったです。・・・（中学生）
- 川に調査をしに行った感想は、色んな生物を見れてすごく面白く、楽しかったです。いつも遊びに行く川では見れない生物を見る事ができたり、川の色んな事が知れて良かったです。これからも川の事をもっと勉強しようと思いました。（中学生）

猪名川

平成30年度の調査結果

地点数：12地点

参加者数：1206人（延べ数）

参加団体：

- 川西市立川西北小学校
- 猪名川町立中央公民館
- 豊能町立東ときわ台小学校
- 川西市立東谷小学校
- 猪名川愛護セミナー
- 川西市立多田小学校
- 池田みどりスポーツ財団
- 川西市中央公民館
- 川西市立清和台小学校
- 川小コミュニティー
- 池田市立呉服小学校
- 少路小学校おやじの会
- 自然と文化の森協会



里山あそび隊

『この川にすむ生物の情報』

・カミツキガメ

猪名川では、『外来種』の増加が問題となっています。猪名川で見つかったカミツキガメは、人にかみつくこともある危険な動物です。そこで、住民の方々協力して外来種が嫌いな礫河原の再生などに取り組んでいます。これにより、昔から猪名川にすんでいた日本固有の生きものを増やすこともできます。

12地点で調査が実施され、水質判定による結果は、『きれいな水』が7地点、『ややきれいな水』が4地点、『とてもきれいな水』が1地点でした。



調査結果
熊野川
紀の川
大和川
木津川
野洲川
瀬田川
桂川
淀川
宇治川
猪名川
揖保川
加古川
巴山川
由良川
北川
九頭竜川

猪名川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 小戸井堰	※1986～2001年に調査												
2 加茂井堰	※1986～2001年に調査												
3 池田床固(※1)	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
4 久代北台井堰	※1986～2001年に調査												
5 高木井堰	※1986～2001年に調査												
6 軍行橋	※1986～2001年に調査												
7 三ヶ井井堰	※1986～2001年に調査												
8 桑津橋	II	II	II		II	II	II	II	II	II	I	II	II
9 分派点	※1986～2001年に調査												
10 中園橋	※2003年に調査												
11 文珠橋	※2003年に調査												
12 御社橋	※1998年以前に調査												
13 吉田橋	※2003年に調査												
14 銀橋上流(※2)	II	II	II		II	II	II	II	II	II	II	II	I
15 向所橋	※2000、2002～2004年に調査												
16 上ノ所橋	※2001年に調査												
17 上止々呂美		I											
18 奥猪名健康の郷											I	I	I
19 支流初谷川											I	I	I
20 ドラゴンランド											II	II	I
21 観音橋												I	
22 猪名川町立ふるさと館親水公園													I
23 支流初谷川最上流													I
24 支流余野川													I
25 キセラせせらぎ水路													II
26 支流千里川親水公園													IV
27 藻川中園橋下													II

(※1)「池田床固」地点は、2010年の調査より「池田床固下流」地点として整理している。

(※2)「銀橋上流」地点は、2010年の調査より「こんにやく橋」地点として整理している。

🌿 きれいな水Ⅰ

😊 ややきれいな水Ⅱ

😞 きたない水Ⅲ

💣 とてもきたない水Ⅳ



調査地点

これまでに**27地点**で調査が実施されました。

池田床固、桑津橋、銀橋上流（こんにやく橋）で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、ほぼすべての地点で、継続的に「**ややきれいな水**」となっていますが、2016年以降は「**きれいな水**」の地点もみられ、**2018年**は「**きれいな水**」と判断された地点が**多かったです**。

猪名川



参加したみなさんの感想

- たくさん捕まえた。(サワガニが99匹)・・・(小学生)
- いろんな生き物がいた。魚を捕まえた。・・・(小学生)
- 指標生物よりも他の生物の方が多いのと、トビケラは種を同定しにくいので、よくわからなかった。・・・(一般参加)
- 子供と触れ合いつつ身近な猪名川について学べたところが良かったです。・・・(保護者)

揖保川

平成30年度の調査結果

地点数：6地点

参加者数：374人

参加団体：

- たつの市立新宮小学校
- たつの子どもエコクラブ
- 歴史文化体験教室
- 太子町立斑鳩小学校
- 林田川水生生物セミナー



『この川にすむ生物の情報』

・カワゲラの仲間

日本には約150種のカワゲラがいます。幼虫は、きれいな水が流れる川の石の下や表面にくっついてます。幼虫は大きくなる種類では2~4年もの間、水の中でくらしします。揖保川では、水生生物のすみかとなる石の多い環境がたくさんあります。

6地点で調査が実施され、水質判定による結果は、

『きれいな水』が2地点、『ややきれいな水』3地点でした。



調査結果
熊野川
紀の川
大和川
木津川
瀬田川
野洲川
桂川
淀川
宇治川
猪名川
揖保川
加古川
田山川
由良川
北川
九頭竜川

揖保川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定				
		I										II								III						IV					I	II	III	IV							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								点数計	点数計	点数計	点数計
新香橋上流	6/26	●			○						○		●		○	○																			3	5	1	0	II	II	
千鳥ヶ浜公園	8/25	●			○						○		●		○	○																			3	5	0	1	II	II	II
せせらぎ公園	8/29	●	○		○					○		○	●		○	○																			5	5	0	1	I	I	II
鶯鳩橋上流左岸側	7/13	○	○		○	○				○			●		●	○																			5	5	2	1	I	I	
JR山陽本線林田川橋梁下流	8/2	○	○							○	○	○	●		○	●																			2	7	1	1	II	II	II

きれいな水 I

ややきれいな水 II

きたない水 III

とてもきたない水 IV

確認種

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、「ややきれいな水」の指標生物であるヒラタドロムシ類、カワニナ類が多く確認されました。

確認種数

揖保川全体では、「きれいな水」の指標生物 5 種類、「ややきれいな水」の指標生物 5 種類、「きたない水」の指標生物 3 種類、「とてもきたない水」の指標生物 3 種類の合計 16 種類が確認されました。

調査結果
熊野川
紀の川
大和川
木津川
瀬田川
野洲川
桂川
淀川・宇治川
猪名川
揖保川
加古川
巴山川
由良川
北川
九頭竜川

揖保川



調査実施状況



加古川

平成30年度の調査結果

地点数：2地点

参加者数：56人

参加団体：

□ 小野市立大部小学校



『この川にすむ生物の情報』

・イシガイ、トンガリササノハガイ
加古川には、泥にもぐって生活するイシガイやトンガイササノハガイがすんでいましたが、近年は河川環境の変化で減少していました。そこで、わんど・たまりを再生した結果、イシガイなどの二枚貝が増えていることがわかりました。



1地点で調査が実施され、水質判定による結果は、『きれいな水』でした。

加古川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 金水寺橋	※1988年に調査												
2 小南橋	※1988年に調査												
3 長野橋	※1988年に調査												
4 船町橋	※1987、1988年に調査												
5 由緑橋	※1988年に調査												
6 八坂橋	※1988年に調査												
7 板波橋	II	II	II	II	II	II	I						
8 滝見橋	I	II	II										
9 大門橋	II	II	II										
10 古川橋	II	II	II										
11 東条川合流点下流	※1984年に調査												
12 西脇橋	※1988、1990年に調査												
13 大住橋	II	II	II	II	II	II			I				
14 御坂橋	※1988年に調査												
15 美羹川橋	II	II	II										
16 池尻橋	I	II	III	II	II	II			II				
17 加古川橋	II	II	II	II	II	II							
18 大平橋	※2002年に調査												
19 米田河川敷	II	II		II									
20 万歳橋	※2005年に調査												
21 水分れ公園	I												
22 加東市野村～上田					II								
23 加古川堰堤					II								
24 福田橋							II						
25 加古川大堰下流									II	II	II	II	
26 175号交差付近									I				
27 加古川合流点付近									II	II			
28 粟田橋下流(※1)									II	II	II	II	I

調査地点

これまでに**28地点**で調査が実施されました。

近年は、粟田橋下流地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、「ややきれいな水」が続いていましたが、**2018年は「きれいな水」となっています。**

 きれいな水Ⅰ

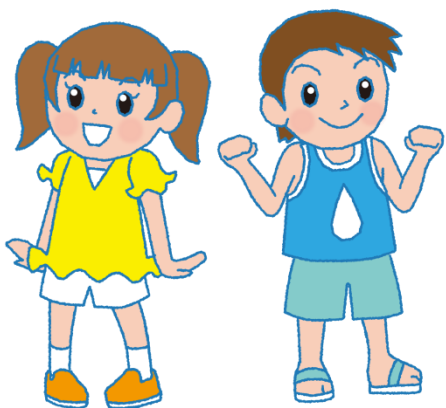
 ややきれいな水Ⅱ

 きたない水Ⅲ

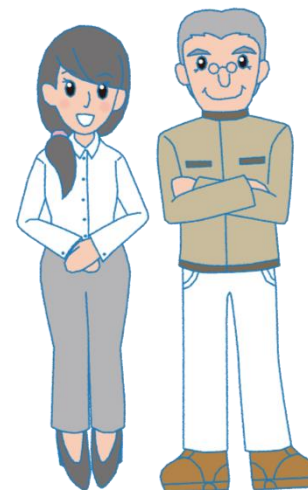
 とてもきたない水Ⅳ



加古川



調査実施状況



円山川

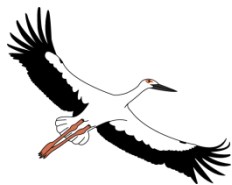
平成30年度の調査結果

地点数：1地点

参加者数：31人

参加団体：

□ 豊岡市立府中小学校



『この川にすむ生物の情報』

・コウノトリ

コウノトリは、1日に約500gの餌を食べます（ドジョウだと50匹程度）。

円山川の周辺でコウノトリが生きていけることは、豊富な餌をはぐくむことができる豊かな自然環境があるという証拠になります。



1地点で調査が実施され、水質判定による結果は、『きれいな水』でした。

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 府市場(※1)	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
2 鍛冶屋	Ⅱ												
3 佐田		Ⅰ											
4 和田山町栄町			Ⅰ										
5 出石町福住				Ⅰ									
6 日高町稲葉				Ⅰ									
7 弘原					Ⅰ		Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ		

 きれいな水Ⅰ
  ややきれいな水Ⅱ
  きたない水Ⅲ
  とてもきたない水Ⅳ



調査地点

これまでに**7地点**で調査が実施されました。
府市場地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、近年は「きれいな水」となっています。

円山川



参加したみなさんの感想

- 円山川がきれいな川だということが分かった。・・・（小学生）
- 川に入ることができて、とても楽しい経験ができた。・・・（小学生）
- 川のにおいを感じることが出来た。・・・（小学生）
- 近くに住んでいるのに、川に近づいたことが無かったので、いい経験が出来た。・・・（小学生）

由良川

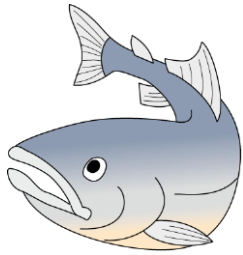
平成30年度の調査結果

地点数：2地点

参加者数：22人

参加団体：

- 東陵小・中一貫校
- 上林小・中一貫校



『この川にすむ生物の情報』

・サケ

由良川は、河口から50km付近まで堰などの川を横切る工作物がなく、海からサケなどの魚が遡上しやすい川です。中流域の早瀬では、サケがいっしょうけんめい川を上る姿をみることができます。



2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、全ての地点で『きれいな水』でした。

由良川

調査結果の経年変化



地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 丹波大橋	※1984～1987、1989～1996年に調査												
2 以久田橋	※1984～1989年に調査												
3 山下橋	※1993～1995、2000～2003年に調査												
4 川北橋	※1995年に調査												
5 新橋	※1995～1996年に調査												
6 高畑橋	※1985～1987、1991～1996年に調査												
7 新土師橋(※1)					Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ					
8 音無瀬橋	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ					
9 新音無瀬橋	※1985～1987、1991～1996、1998年に調査												
10 新庄橋	※1989年に調査												
11 笹巻橋	※1998年に調査												
12 波美橋	※1984～1992年、1994、1995に調査												
13 大雲橋	※1993年に調査												
14 西飼橋	※1995年に調査												
15 六人部橋	※1998～2000年に調査												
16 畑川親水公園	※1997年に調査												
17 猪野々橋	※1999～2000年に調査												
18 芦生	※1998年に調査												
19 河瀬橋	※1998年に調査												
20 和知町細谷	※1999年に調査												
21 山家橋下流	※1999、2000年に調査												
22 仏谷橋	※1999、2000年に調査												
23 荷福橋	※1999～2001年に調査												
24 弓削橋	※2000年に調査												
25 十倉橋	Ⅰ	Ⅰ											
26 相良橋	※2001、2002年に調査												
27 上端橋	※2002年に調査												
28 大手橋	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ					Ⅰ
29 南島橋	※2002年に調査												
30 車瀬橋	※2002、2004年に調査												
31 朝根橋	※2003年に調査												
32 畑口川	※2003年に調査												
33 福知山市私市付近													
34 南丹市美山町上平屋付近(※2)						Ⅰ							
35 故屋岡町岩村付近	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ										
36 綾部由良川水生園		Ⅰ											
37 有安橋		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
38 市場大橋				Ⅱ									
39 新小貝橋					Ⅱ								
40 新橋サンダル公園					Ⅱ								
41 猿田彦公園					Ⅱ	Ⅱ							
42 石原								Ⅰ					
43 縄手							Ⅱ						
44 朝根橋上流									Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		

調査地点

これまでに **44** 地点で調査が実施されました。

有安橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、近年は「**きれいな水**」がつづいています。

(※1)「新土師橋」地点は、2010年の調査より「新土師川橋」地点として整理している。

(※2)「南丹市美山町上平屋付近」地点は、2011年の調査より「上平屋」地点として整理している。

由良川



参加したみなさんの感想

- 知らない生物もたくさんいて勉強になった。・・・（小学生）
- たくさんの生き物を捕ることができて楽しかった。・・・（小学生）

北川

平成30年度の調査結果

地点数：2地点

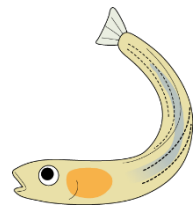
参加者数：39人

参加団体：

- 雲浜まちづくり委員会
- 一般参加



『この川にすむ生物の情報』



・シロウオ

シロウオは、伏流水のあるきれいな石と砂が混じる川の下流域で卵を産みます。

毎年春、海から北川にシロウオが上ってくるのは、北川にこうした環境が残っているからなのです。

2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、全ての地点で『きれいな水』でした。

北川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																												集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定					
		I										II								III						IV															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II	III				IV				
三宅橋	8/1	○			○	○				●	○	●																						6	2	0	1	I	I	I	
高塚橋	8/1	○	○			○				●	○	●			●																				6	4	0	0	I	I	I

 きれいな水Ⅰ

 ややきれいな水Ⅱ

 きたない水Ⅲ

 とてもきたない水Ⅳ

確認種

「きれいな水」の指標生物であるナミウズムシ、サワガニ、「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類が多く確認されました。

確認種数

北川全体では、「きれいな水」の指標生物7種類、「ややきれいな水」の指標生物2種類、「とてもきたない水」の指標生物1種類の合計10種類が確認されました。

調査結果の経年変化

地 点		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1	新道	※1984年に調査												
2	三宅橋	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
3	天徳寺橋	I	I	II	I	I	I	I	II	I	I	I		
4	神谷橋	※1997年に調査												
5	高塚橋	I	I	II	II	II	I	I	I	I	I	I	I	I



調査地点

これまでに**5地点**で調査が実施されました。

三宅橋、高塚橋地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、近年は「**きれいな水**」がつづいています。

北川



参加したみなさんの感想

- とても川がきれいだったのでまたしたいと思った。・・・（小学生）
- たくさんの魚や虫がいて来年もこようと思った・・・（小学生）

九頭竜川

平成30年度の調査結果

地点数：5地点

参加者数：35人

参加団体：

大野市立和泉小学校

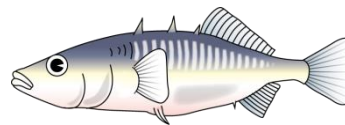
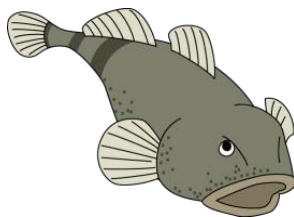
一般参加



『この川にすむ生物の情報』

・アラレガコ

九頭竜川の中流は、「アラレガコの生息地」として国の天然記念物に指定されています。小さいうちは主に水生昆虫を食べるので、川の中に虫がたくさんいると大きくなります。大人になると「石化け」（石のようにじっとして待ち伏せ）して魚を食べます。



5地点で調査が実施され、水質判定による結果は、全ての地点で『きれいな水』でした。

九頭竜川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																												集計				判定	今年の判定	昨年の判定						
		I										II								III						IV				I	II	III	IV									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28								29	点数計	点数計	点数計	点数計	
九頭竜川上流	7/23	●				●			○	○																										6	0	0	0	I	I	I
和泉支所前	7/23		○		●						●																									3	2	0	0	I	I	II
前坂キャンプ場	7/24		●		●																															4	0	0	0	I	I	I
福井大橋下流	7/26	○		○	●							●				○																			4	3	0	0	I	I	I	
天池河川公園前	7/26				●						●																								2	2	0	1	I	I	II	

きれいな水Ⅰ

ややきれいな水Ⅱ

きたない水Ⅲ

とてもきたない水Ⅳ

確認種

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類が多く確認されました。

確認種数

九頭竜川全体では、「きれいな水」の指標生物7種類、「ややきれいな水」の指標生物2種類、「とてもきたない水」の指標生物1種類の合計10種類が確認されました。

九頭竜川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1 鳴鹿堰下流	※1984～1992年に調査												
2 鳴鹿橋上流	I	I	II	I	II	I	I	III	III	I	I		
3 福井大橋(※1)	I	I	I	I	I	I	I	II	II	I	I	I	I
4 中角橋(※2)		II	I	I	I	I	I	IV	I	I	I	II	I
5 江端川合流点	※1987年に調査												
6 朝宮橋	※1985～1990年、1992～1994年に調査												
7 布施田橋	※1985～1988年に調査												
8 和泉支所前									I	I	I	II	I
9 前坂キャンプ場									I	I	I	I	I
10 九頭竜川上流										I	I	I	I

(※1)「福井大橋」地点は、2002年の調査より「福井大橋下流」地点として整理している。

(※2)「中角橋」地点は、2004年の調査より「天池河川公園前」地点として整理している。

 きれいな水Ⅰ

 ややきれいな水Ⅱ

 きたない水Ⅲ

 とてもきたない水Ⅳ

調査地点

これまでに **10地点** で調査が実施されました。

福井大橋、中角橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、「きれいな水」及び「ややきれいな水」となっています。

九頭竜川



参加したみなさんの感想

- 水が冷たくて泳ぎたくなかった。・・・（小学生）
- 水がきれいだったので川で泳ぐ魚を見ることが出来た。・・・（小学生）
- たくさんの生き物を見つけられてとてもうれしかった・・・（小学生）
- 川の中にたくさんの小さな生き物などがいてびっくりした。・・・（小学生）

川ってどんなところ？

川はあらゆる生きもののくらしを支えるところ

川はただ水が流れているところではありません。

川はそこにすむ生きものだけでなく、そのまわりの森や大地、そこに住む人々のくらしにとって大切な役割を持っています。

河畔林

川沿いの林。鳥のねぐらになり、昆虫たちも集まる。

川の中流

- 流れがやや遅くなる、川幅は中くらい、傾きはゆるい
- 角がとれた丸い石が多い
- ワンドなどがみられる

中流の川底

ワンド

川の本流から少し離れたところのできる水たまり。川の生きものにとって大切な場所。

干潟

川の河口付近にできる、砂や泥がたまった場所。川と海の両方から栄養分が流れ込む、生きものの宝庫。

川の上流

- 流れが速く、川幅は狭く、傾きが急
- 角張った石や大きな石が多い
- 沢や滝がある

上流の川底

川の下流

- 流れがゆるやかで遅い、川幅は広く、傾きはほとんどない
- 砂や砂利、泥が多い
- 洪水に備えた施設が多い

下流の川底

川を通じた生命のつながり

水生生物を通じて、生命のつながりを知りましょう

近くの川を流れる川にすむ水生生物にふれて、生命と環境とのつながりに興味を持ってください。

生きものがくらしやすい川や森や海を守ることが、私たちのくらしを守ることにもつながっています。

川を通じた生命のつながり

- ◆ 上流から下流へ：森からの栄養分の供給
- ◆ 下流から上流へ：サケやマスが川をのぼり、海から森へ栄養分を運ぶ
- ◆ 人の暮らしとの関わり：川が運んできた栄養分で農作物が育つ



水生生物は川の水をキレイにする、はたらくもしているよ！



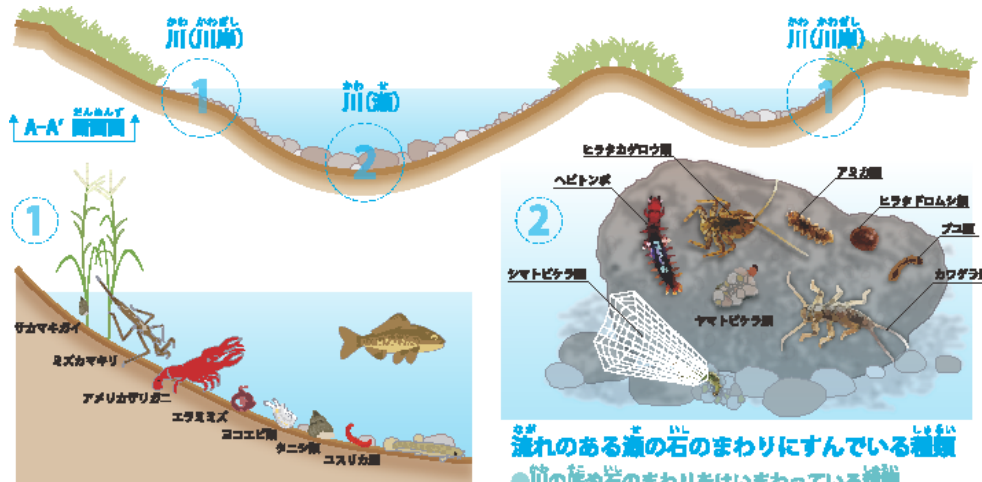
こんなところを、探してみよう！

水生生物は、体形や生態によって、「すみか」がちがいます。生きものをしっかり捕まえるには、「すみか」がどんなところかを知ることが必要です。どこを探すとどんな種類の水生生物が見つかるか紹介します。

◆ どこに・どんな生物がかくれているかな？

川には、流れの速い「瀬」。流れのゆるい「ワンド」や「川岸」があります。

◆ 川の断面をみてみると・・・？

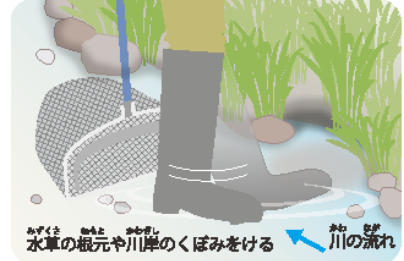


- 流れのゆるやかなワンドや川岸にすんでいる種類**
- 川の底をはいまわっている種類
 - ・ヨコエビ類、コオニヤンマ、ゲンジボタル、ミズムシ、アメリカザリガニ、タニシ類、イソコツブムシ類、ニホンドロソコエビ
 - 水草にくっついている種類
 - ・ミズカマキリ、サカマキガイ



- 流れのある瀬の石のまわりですんでいる種類**
- 川の底や石のまわりをはいまわっている種類
 - 肉食のものが多く、
 - ・カワゲラ類、ナガレトビケラ類、ヘビトンボ、ヤマトビケラ類
 - 岩で石にくっついたり、表面をすべっている種類
 - 石についている藻類を食べるものが多い、
 - ・アミガハ類、アユ類、ヒラタカゲロウ類、ヒラタドROMシ類
 - 網をはってエサをとる種類
 - 石と石の間に網をはり、引っかかった藻類や昆虫の死骸などを食べます、
 - ・コガタシマトビケラ類、オオシマトビケラ

◆ ここを探そう！



ワンドや川岸
ワンドや川岸の水の流れが緩やかなところでは、水草の根元や川岸のくぼみをける。川の流れ



瀬の石のまわり
瀬にある大きな石の表面を手でなでて、くっついてる生きものをタモ網でつかまえよう。大きな石の下や、石と石のあいだにいる生きものは、手やくつをはいた足でかき回して、タモ網でつかまえよう。

！ 箱メガネでのぞいてみよう！

「箱メガネ」で覗いてみると、水の中の生きものの様子を観察することができます。どんなところに、どのようにすんでいるのかを見てみよう。

